

「家庭の日」作文集から ②



日光小2年 佐藤めぐみ
(現在日光小3年)

きょうは、おとうさんもお休みです。わたしはうれしくて、朝からおとうさんのそばにくっついていました。
「めぐみ、おとうさんと、何かしてあそぶうか。」
おこたつに入ってから、おとうさんがいいました。
「うん、しょう、しょう。何するの。」
「いいました。」
「おかあさんを、よんでおいで。」
おとうさんがいったので、わたしは、おかつて行って
「おとうさんとゲームをするの。おかあさんも来てね。」
「いいました。おかあさんは、
「今、かたづけしたら、行くよ。」
といったので、わたしは、おとうさんのところに行つてすわりました。
「おとうさん、この間買ってもらった、バ

ンチゲームがいじらない。
わたしは、とだなから、バンチゲームをもつてきました。おかあさんが、エプロンで手をふきながら、にこにこして入ってきました。
「あら、バンチゲームやるの。」
「うん、三人で、じゃんけんをしました。わたしが一番でした。おかあさんが二番、おとうさんが三番でした。」
わたしは、おとうさんがびれで、かわいそうだな、と思いました。
「じゃ、わたしが、二まをばらまくからね。」
「おかあさん、みんなまげちゃってね。」
「おとうさんも、おかあさんも、八こずつひろつて。」
と、いつて、わたしも八こひろいました。
「じゃ、わたしからやるよ。」
さいしょは、あひるの絵が出ました。おかあさんは、ねこの絵でした。おとうさんは、さるの絵でした。わたしは、なかなかあひる

の絵がそろいませんでした。おとうさんは、とてもじょうずで、さるの絵がそろったので、一番にあげました。おかあさんが二番で、わたしは、とうとうびれになってしまいました。じゃんけんの番と、あがりの番がはんなりになったんです。
わたしは、びれでもつまらないと思いませんでした。おとうさんが一番になって、よかったと思いました。
それから、二回ぐらいバンチゲームをやっていたら、夕方になりました。おかあさんはお買い物に行くといつたので、
「じゃ、きょうは、もうやめよう。」
とおとうさんがいいました。
おとうさんといっしょにゲームをして、わたしは、とてもたのしかったです。心の中で「おとうさん、ありがとう。」
といいました。
またおとうさんといっしょにあそびたいです。



お手伝いをさせるといっても、雑多な用事を次々に言いつけることでは、決してありません。
子供は、二、三歳ごろから、親のしていることに手を出したり、見よう見まねで、自分でもやってみたりするようになります。
食器をかたづけたり、グラス一杯の水を運んだり……ところが本人の「やる気」とは裏腹に、結

お手伝い

家庭生活の役割を持たせよう

ですが、ちよつと待つてください。子供のお手伝いが、母親にとつてさほど役に立たなくても、また、それが結果的に失敗に終わつても、子供が自分から進んで何かをしようとするこの時期こそ、自主性を

伝いを通して、子供は子供なりに、家庭の一員としての役割を知ることになるのです。
お手伝いは、親子、家族の新しいコミュニケーションの始まりといえるでしょう。

果的には失敗に終わることが多いようです。
おかあさんとしては、後始末がたいへんで、ついつい「余計なこととは、しないでちょうだい」などと口走ってしまうことになりがち

育てる上で、いいチャンスなので、できないことをしかる前に、自分でやろうとする意欲をほめてやってください。
積極的な気持ちからお手伝いをしているとき、
子供は、自分が役立っているという喜びを感じています。お手

婦人の海外研修団員募集

市と県では、婦人の社会参加を促進するため、ボランティアとして活躍している婦人を海外に派遣します。
◎派遣先 カナダ・アメリカ
◎派遣期間 八月二十四日～九月四日(十二日間)
◎申込締切 五月三十日④までに
市社会教育課社会教育係(☎三七〇〇)へ申し込んでください。
◎応募資格 ①五十六年四月一日現在で、満三十歳以上五十二歳未満の、県内に在住する方 ②現在ボランティア活動を行っている方
③身心ともに健康で、派遣計画に従い規律ある団体行動のできる方
◎経費 十九万二千元
なお、詳しいことについては、市社会教育課社会教育係におたずねください。

